

木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画策定事業 概要説明（長野県白馬村）

1. 事業概要

事業名	白馬村公共施設における木質バイオマス発電・熱利用設備導入計画策定
検討対象設備等	・白馬村B&G海洋センタープール 薪ボイラーまたは熱電併給設備（プール加温） ・白馬村役場・白馬村保健福祉ふれあいセンター チップボイラーまたは熱電併給設備（暖房） ・村道3149号線ロードヒーティング チップボイラーまたは熱電併給設備（融雪）
平成30年度 補助金交付予定額	14,680,000円
事業内容	1.森林賦存量・供給可能量調査 統計調査、文献調査、森林組合、林業事業者等ヒアリング、木質バイオマス供給可能量検討 2.木質バイオマス燃料調達可能性調査 村内及び近隣地域の燃料製造状況調査、燃料(チップ・薪・ペレット)製造事業化検討、燃料調達方法及びサプライチェーンの検討 3.木質バイオマスエネルギー機器導入可能性調査 エネルギー消費施設の熱需要・電力需要調査、詳細調査対象施設における省エネ方策、収支検討 4.事業実施計画の策定

2. 設備導入予定等

設備導入時期	平成33年4月着工、平成33年11月完工
CO2削減効果	・白馬村B&G海洋センタープール 薪ボイラー導入時：7.1t-CO2/年、熱電併給設備導入時：24.0t-CO2/年 ・白馬村役場・白馬村保健福祉ふれあいセンター チップボイラー導入時：55.2t-CO2/年、熱電併給設備導入時：111.9t-CO2/年 ・村道3149号線ロードヒーティング チップボイラー導入時：5.3t-CO2/年、熱電併給設備導入時：1.8t-CO2/年 - 合計 熱利用のみ：67.6t-CO2/年、熱電併給設備導入時：137.7t-CO2/年
生物多様性保全効果	本村は、北アルプスの山麓に位置し、一級河川姫川の源流部を含んでいるが、本村の河川の水が安定して流れるのは、森林による保水、水の供給、浄化の機能を成しているためである。また、森林は、山岳部、農地、里山の自然等、多様な生き物を育む環境をつくり出している。一方で、林業の採算性の悪化を背景とした適切に管理されていない森林の増加は、近年の野生鳥獣による農作物等への被害の一因ともなっている。適切な計画のもとでの木質バイオマス活用を進めることによって、森林環境を健全に保つための適切な森林管理につながり、本村の豊かな自然と生物多様性の保全に貢献すると期待できる。また、現在行われている遊歩道整備などの整備体制の強化とそれに伴う林内環境の保護に資する。